

計画事業番号	00202	事務事業名	幼稚園協会連携事業	担当部署	教育部教育総務課	電話	885
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市幼稚園協会補助金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和54年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進						
	(施策 1) 幼児教育の振興・充実						
2 対象	北広島市幼稚園協会						
3 目的と内容	市内私立幼稚園8園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。						
4 実施内容 (手段)	27年度まで	私立幼稚園協会へ補助金を交付。 補助額 160,000円					
	28年度	昨年度と同様であるが、 私立幼稚園協会へ補助金を交付。 補助額 160,000円					

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
幼稚園協会に助成	私立幼稚園協会へ補助金を交付。 補助額 160,000円	幼稚園協会に助成		幼稚園協会に助成		幼稚園協会に助成	

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	本市の幼稚園教育は全て私立幼稚園に委ねられており、市内私立幼稚園8園の連携による研修会等の実施により、幼児教育の資質向上が図られているため、今後も継続して事業を実施していく。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			160	160	162	162
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	160	160	162	162
		① 合計	160	160	162	162
	人件費	② 人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	450	450	450	450
総事業費①+④			610	610	612	612

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①協議会加入幼稚園数	園	8	8	8	8
		目標値				
		実績値	8			
	②	園				
	目標値					
	実績値					
	③	園				
	目標値					
	実績値					
成果指標	①園長研修実施回数	回	5	5	5	5
	【指標の定義(算式等)】		6			
	②教職員研修実施回数	回	5	5	5	5
	【指標の定義(算式等)】		7			
	③	回				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	各園の連携による幼児教育の研究や研修等の充実のため、行政としての支援は必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	会議、研修を実施し、市内8幼稚園の連携、協力体制を構築するとともに、幼児教育の資質向上が図られている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	幼保小連携事業における各種交流会、研修会等へ幼稚園協会が積極的に関わっていくことで、更なる幼児教育の資質向上が期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	幼稚園協会の事業は、市補助金の他、各園からの負担金により展開されており、市単独でのコスト削減は、各園や保護者負担の増加につながるため、幼児教育の資質向上を図る上でも困難と考えられる。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 202

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	私立幼稚園協会補助金		
交付先の名称及び代表者名	北広島市幼稚園協会 会長 高橋 美千代	設立年	昭和54年
構成員(団体)数	市内私立幼稚園 8園 (28年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	各園が連携し、幼児教育の研究や研修等を実施し、市内私立幼稚園の資質の向上を目指すことを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	園長研修 教職員研修 石狩管内幼稚園協会との連携		
事務局の状況(27年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当状況(27年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	160	160	160	
	会費	204	100	100	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	364	260	260	
支 出	報償費	74	100	70	
	旅費	48	30	45	
	需用費	66	6	9	
	役務費	11	6	6	
	その他	165	118	130	
	支 出 合 計 (C)	364	260	260	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	44 %	62 %	62 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	研修費	研修費	研修費	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	364	260	260	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	44 %	62 %	62 %	
	補助・交付金の算出根拠	定額(交付金的要素の強い補助金)			